



堰 止 湖

尾瀬ヶ原は 一つおとずれても新鮮で
すばらしい。とくに 夏はやく 雪ど
けの水が音もなく流れ始めるころがよい
そこには 色まだ淡い水芭蕉の花があり
かれんである。

この尾瀬ヶ原の付近も かつては平凡
な只見川の支流であった。やがて
現在の燧岳が噴火を始め 流れ出た溶岩
類は谷を埋め 天然のダム(堰止湖)が
できあがった。このダムは長い年月の
間に いろいろな堆積物で埋められてい
き やがて植物が繁茂し 今にみる雄大
な湿原ができ上がったといわれている。

この写真は尾瀬ヶ原を上流から すな
わち 至仏山の中腹からとったものであ
る。静かな雪原に山の鼻小屋がポツン
とアクセントをつける 1959年4月30日
の午後である。

所 内 第7回 写真コンクール入選作 「堰止湖」
鉱床部 核原料資源課 石原 舜三



石原技官コロラド鉱山大学へ留学
鉱床部核原料資源課 石原舜三技官は
ウラン鉱床の研究のため アメリカの
コロラド鉱山大学へ留学 7月24日羽
田から出発した
期間 昭和36年7月～昭和38年7月

石原 舜三技官 (2カ年の予定)

来 訪 の 外 人 (4～6月)

- 36. 4. 4. Dr. D.R.Wightman 英国バーミンガム大学教授
E.C.A.F.E.10年史の資料収集
- 4.11. Dr. Pichamuthu マラヤ大学教授
- 4.12. Mr. H.S.Scott カナダ 地質顧問技師
- 4.13. Mr. R.E.Cook Hawaii 大学
- 5. 9. Prof. M.L.Jensen 米国・エール大学教授

- 5.17. Dr. Alfred Schreiber ドイツ ハノーバー地質調査所
- 5.30. Dr. D.S.Reddi インド オスマニア大学総長

地質ニュースに掲載された
天然ガス関係記事

日本の天然ガス	特集 No. 4 (1954-10)
石炭層ガスについて	19 (1955-9)
天然ガスの新しい利用	25 (1956-5)
天然ガス特別研究3カ年計画について	43 (1958-3)
炭鉱ガスについて (1)(2)	47・48 (1958-7・8)
ガスの地下貯蔵について	51 (1958-11)
天然ガス徴候の見方と見つけ方	53 (1959-1)
南関東のガス田	64 (1959-12)
最近発見された日本の新油田・ガス	71・72・74・76
田 (1)(2)(3)(4)	(1960-7・8・10・12)
構造性ガス	75 (1860-11)
琉球の天然ガス	77 (1961-1)
新潟ガス田の坑水圧入実験	78 (1961-2)